

■平成 25 年度 第 1 回長浜城歴史博物館協議会 会議録■

日時：平成 25 年 7 月 31 日（水）13：30～

会場：長浜城歴史博物館 地階研修室

【出席者】

委員：東、衣斐、小和田、北川、木村、草野、嶋田、西川（五十音順・敬称略）

長浜城：片山館長、太田副館長、森岡、南部、西原、福井

（司会）

それでは定刻になりましたので、ただいまから平成 25 年度長浜城歴史博物館協議会を開会します。

皆様方にはご多用のところをご参集賜り、厚くお礼申し上げます。

長浜城歴史博物館 館長の片山から挨拶申し上げます。

【館長挨拶】

（片山館長）

今年度第 1 回目の博物館協議会を開催しましたところ、ご公務お忙しい中ご参集いただき、有り難うございます。一昨日の集中豪雨では、市内でも避難勧告が出た地域があった。琵琶湖の水位がかなり回復していることから、相当量の雨が降ったことが窺える。

本年は長浜城再興 30 周年という記念すべき 1 年であり、友の会と協力しながら記念行事を展開している。開館以来、昨日までの総入館者数は 4,841,774 人である。近い将来、500 万人記念セレモニーが開催できればと夢を描いている。

現在、特別企画「羽柴秀吉 天下統一への足跡」の第 3 弾として、特別展「秀吉に備えよ！！ - 羽柴秀吉の中国攻め -」を開催中である。秀吉を学ぶ絶好の機会として、特に市民の皆さんに来ていただきたいと考えている。長浜まちづくりの大きなきっかけとなった秀吉の功績を知っていただくためにも、春休みと夏休み期間に「ひでよしくん手形（入館料半額券）」を発行しているところである。

本日は、忌憚のないご意見をよろしくお願ひしたい。

【議案審議】

（司会）

ただいまから議案審議に移ります。議長の選出について、長浜城歴史博物館管理規則第 10 条の 3 に「会長は、会務を総括し会議の議長となる」とあるが、本日は会長である大橋委員が所用で欠席されている。管理規則第 10 条の 4 に「副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する」とあることから、副会長の東委員にお願ひしたい。

（東副会長）

ご指名により議長を務めさせていただく。議事進行については、皆様のご協力をお願ひしたい。

平成 25 年度事業について、展示関係の説明をお願ひしたい。

1) 特別展の展示見学・説明について

(森岡)

特別展「秀吉に備えよ！！ - 羽柴秀吉の中国攻め -」について、展示説明。

【委員講評】

(木村委員)

秀吉の中国攻めについて様々な視点から学ぶことができた。他館との緊密な連携があってこそその展示内容であると感じた。特に、「秀吉に備えよ！！」というタイトルは、切り口が面白く、多くの人に興味を持ってもらえるのではないかと。貴重な文書類が体系的に展示されており、来館者にとっても歴史研究の助けとなるだろう。

(小和田委員)

秀吉主体ではなく、むしろ攻められた側の視点で、よく資料を集めていると思う。「軍師 官兵衛」が放映される来年では、これほどのボリュームのものは展示できないのではないかと。

特に、「播磨三木城合戦図」(兵庫県立歴史博物館蔵)は、現在でも絵解きが行われているということだが、切腹の場面など合戦の様子がリアルに描かれており、非常に興味深い。一般的に「秀吉は不必要に人を殺さない」というイメージがあるが、決してそうではなかったことを今回の展示資料が物語っている。これまで秀吉を神聖視・英雄視してきたことに風穴をあけた展示であり、秀吉も戦国武将の一人であることを伝えるものである。

また、下郷共済会所蔵の「羽柴秀吉書状 下村玄蕃助宛」の書状には、子どもは串刺しに、女性は磔にして処刑したことが記されており、生々しいリアルな内容となっている。

一般の人は甲冑や絵図、考古資料などが興味を持ちやすいと思う。古文書だけでなく、その他の歴史資料も多く、適度にばらけている点が良かったと思う。

(草野委員)

展示説明を聞かせていただいても、大変な思いで展示に取り組まれたことが感じ取れ、その熱意に感激した。

(北川委員)

資料によって公開日数が設けられているのはどういうことか。

(森岡)

国宝や重要文化財を公開する場合は、文化庁の取扱要領に基づき、適切な取扱いを行わなければならない。原則として公開回数は年間2回以内とし、公開日数はのべ60日以内、ただし、褪色や材質の劣化の危険性が高いものは、年間公開日数の限度をのべ30日以内となっている。

(北川委員)

今回、特別展を観覧し、改めてこういった時間を過ごすことの大切さを感じることができた。
ぜひ地域の教員たちにも見てもらいたい。

(嶋田委員)

先日、和紙に関する資料館を訪れ、時代によって紙の質が違うことを知った。
今日は、そういった視点からも展示を楽しむことができた。

(衣斐委員)

秀吉の残酷さを感じることができたとともに、来年の黒田官兵衛への期待が高まった。

(西川委員)

長浜城歴史博物館を訪れるたびに歴史の大切さを実感する。

(東副会長)

私が大学院生の頃、ゼミで秀吉の事蹟に関する研究を行った。その頃は、秀吉の残酷さを伝える生の資料を見る機会がなかったが、今回現物を見せていただき、改めて実感することができた。

こういった資料が一堂に集まり、長浜城で見ることができるというのは、市民にとっても非常に貴重な機会であると感じた。私自身、大変勉強になった。

2) 平成25年度事業について実績および計画（博物館事業・友の会事業）

(東副会長)

続いて平成25年度博物館事業と友の会事業について、実績と計画の説明をお願いします。

(南部)

資料に基づき、博物館事業について説明。

(福井)

資料に基づき、友の会事業について説明。

(館長)

ゴールデンウィークの前後に、来館者アンケートを行った。特に、秀吉と北近江をテーマにしたDVDが好評である。

また、平成22年12月に「長浜市教育振興基本計画」が策定された。6つの基本目標が設定されており、そのうちの「地域の伝統・文化を生かし、郷土を愛する心を育てます」が長浜城関係の方針となる。

基本計画の進捗状況については、年に一度、評価委員会での点検・評価が行われる。昨年の評価委員会では、①長浜城歴史博物館は、観光施設の一つであるが、博物館としての質をより高めて欲しい。

②長浜城は、湖北地域の広告塔的な役割を担っているので、長浜を訪れる人々が湖北全体に足を伸ばせるような取り組みをお願いしたい等、という4つの意見があった。

博物館の「質を高める」ためには、展示そのものの質と職員の質が肝心だと考えている。今回、特別企画「羽柴秀吉 天下統一への足跡」では、子ども向けの展示解説として、ジュニアガイドを取り入れた。今年度2名の学芸員（臨時職員）採用を行い、月2回程度、若手・中堅職員を対象とした学芸員養成講座を実施している。また、文化庁の研修制度を利用し、本館の学芸員が昨年度ミュージアム・エデュケーター研修を受講した。

この基本計画の期間は、平成27年度までの5年間とし、さらに見直しが図られることになるので、委員の皆さんからも意見や提言をいただきたい。

（東副会長）

ただいま説明いただいた博物館事業ならびに友の会事業、併せて今後の博物館活動への意見・提言等がありましたらお願いしたい。

（小和田委員）

子ども向けの展示説明会は行っているのか。

いま、夏休み期間なので、子ども向けへの配慮もお願いしたい。

（館長）

子ども向け展示説明会を実施するまでには至っていないが、今回の特別展でもジュニアガイドを作成し、子どもたちが興味を持てるような配慮を行いたい。

（木村委員）

アンケートの集計結果を見ると、県外のお客さんが多い。県外来館者（市民も含む）と県外来館者、それぞれに向けた展示活動を行っていかねばならないと思う。

例えば、先ほどから話題になっている「播磨三木城合戦図」などは、非常に興味深い資料だと思うが、これを使って絵解きが行われていることを、もっと分かりやすく掲示してはどうか。一般の来館者に配慮した展示でなければ、せっかくの良い展示ももたないと感じる。

（東副会長）

これもちまして、平成25年度第1回博物館協議会の全ての議事を終了いたします。慎重にご審議いただき、提案事項いずれも議案どおり決議いただきました。

また、議事進行については、皆様のご協力により無事、職責を果たすことができました。

誠に有り難うございました。

◆購入予定資料、博物館寄託・寄贈資料の内覧

○高橋家文書（紺綬褒章受章を祝って）

羽柴秀吉判物・羽柴秀長判物・石田正澄判物・徳川家康禁制など